

会 議 の 要 旨

会議の名称	第 15 回川越市介護保険事業計画等審議会
開催日時	令和 3 年 2 月 1 日 (月) 午後 3 時 00 分 開会 ・ 午後 3 時 40 分 閉会
開催場所	ウェスタ川越 1 階多目的ホール A~C
議長氏名	会長 齊藤 正身
出席委員氏名	小高委員、大泉委員、池浜委員、矢部委員、高橋委員、樋口委員、 宮山委員、川越委員、佐々木委員、荻野委員、佐藤委員、長峰委員、 芝波田委員、船津委員、米原委員、原委員、横田委員、矢代委員、 中原委員、田中委員
欠席委員氏名	橋本委員
事務局職員等氏名	近藤福祉部長 高齢者いきがい課：坂口課長、内門副課長、真坂主任 介護保険課：奥富参事、小室副課長、円城副主幹 地域包括ケア推進課：富田課長、渡辺副課長、山畑副主幹、内藤主査
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 報告 (1) 第 14 回川越市介護保険事業計画等審議会について 4 議事 (1) パブリック・コメントの結果について (2) 「すこやかプラン・川越 - 川越市高齢者保健福祉計画・第 8 期川越市 介護保険事業計画 - 」(原案) について (3) 答申(案) について 5 その他 6 閉会
配布資料	1 次第 2 会議要旨…資料 1 3 川越市高齢者保健福祉計画・第 8 期川越市介護保険事業計画(原案) に対する意見募集の結果…資料 2 4 すこやかプラン・川越 - 川越市高齢者保健福祉計画・第 8 期川越市介護保 険事業計画 - 原案…資料 3 5 答申(案) …資料 4 6 資料編 5 川越市介護保険事業計画等審議会委員名簿…当日配布資料 1 7 令和 2 年 11 月 11 日第 14 回審議会(第 1 回目推計値)からの保険料算 定に係る主な変更点…当日配布資料 2 8 第 8 期介護保険料の算定(概要) …当日配布資料 3 9 福祉総合相談窓口パンフレット

議事の経過

1 開会

2 挨拶

会長による開会の挨拶

3 報告

- (1) 第14回川越市介護保険事業計画等審議会について
事務局より、資料1を用いて報告

4 議事

- (1) パブリック・コメントの結果について
事務局より、資料2を用いて説明

(会長)

パブリックコメントについて、事務局からの説明でよろしいか。

(全委員)

(意見等なし)

- (2) 「すこやかプラン・川越－川越市高齢者保健福祉計画・第8期川越市介護保険事業計画
-」(原案)について

事務局より、資料3、当日配布資料1～3を用いて説明

また、事前に提出された委員からの意見等について説明

- ・誤字や見やすくなる工夫等の意見をいただいた。今後、最終校正を行っていく中で、必要に応じて修正を行う。
- ・原案にある図表や写真について意見をいただいた。現在、担当課が最終確認を行っているため、いただいた意見を参考にまとめていく。
- ・資料3の152ページ以降、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における圏域別のリスク判定等結果としてまとめたデータの活用について意見をいただいた。各圏域の状況を示す一つの指標となるので、第8期計画の取組を進めるにあたり、地域包括支援センターや生活支援コーディネーター等の関係者と情報を共有し、地域課題を抽出する一つの指標として活用していきたい。
- ・原案において、介護保険施設の現状について記載されているのかという意見をいただいた。この点については、資料3の原案には反映されていないので、今後、意見を踏まえて川越市全体の施設数、定員数が分かるような形で追記させていただく。

(会長)

事前に委員から出された意見等への回答についてはよろしいか。新たに意見等があるか。

(委員)

前回の審議会以降、新型コロナウイルス感染症の影響による市民の生活状況はより一層厳しくなった。保険料に対する基金の活用について、もう少し見直しを行い、保険料の上昇を抑えることはできなかったのか。

(事務局)

基金の活用については、以前の審議会において、準備基金の適正な規模について意見をいただいた。国の通知等では適正な規模について定められていないが、市として適正な規模についての考え方を持っておいた方が良いという意見だった。意見を踏まえて、市としても、不測の事態と今後の保険料の上昇を抑えるために、保険給付費の5%ほどは必要ではないかといった判断をしている。保険料が令和5年度については約260億円見込まれることから、260億円の5%である13億円は必要ではないかということで、今回、20億円を取り崩させていただいた。

(会長)

保険料を下げればそれだけサービス提供者側にとっても厳しい部分が出てくる。これはぜひ議会においてしっかり議論していただければと思う。

(委員)

保険料についてだが、広報川越に進捗率というものが掲載されていた。現在の進捗率というのは当初見込みと比べてどうなっているのか。また、介護保険料の全体の使い道等、知りたい内容について、どういったところをみれば一般市民にも分かるのか。

(事務局)

1点目の進捗率というのは、施設整備の進捗状況といったことでよろしいか。

(委員)

広報川越で見たのは全体の消化率、介護保険料の執行率というものだった。説明は詳細でなく大約でよい。

(事務局)

保険給付の執行状況としては、今年度前半は新型コロナウイルス感染症対応の影響から特に通所介護の執行が伸び悩み、前年対比マイナスの部分もあったが、ここに来て例年を上回る執行状況となっている。そのため、最終的な保険給付等の執行状況については例年通りとなるのではないかと考えている。2点目の保険料の使い道等については、パンフレット等を活用して周知、説明を行っている。今年度は市医師会を通じて各医療機関に備え付け、閲覧

用としてパンフレットの配布を行った。65歳以上の方に一斉にというのは難しいが、今後も介護認定の更新等といった機会を捉えて丁寧に説明していきたい。

(委員)

一般の市民が使い道等について、その内容を見たいと思ったらどうすればよいのか。

(会長)

分かりにくいということだろう。もう少しわかりやすくなるのか。

(事務局)

意見を踏まえ、分かりやすい周知方法を考えていきたい。市ホームページ等には掲載しているが、ホームページのどこを見ればよいのかといったこともあると思うので、そういった点も注意して分かりやすい内容としていきたい。

(会長)

努力していただきたい。

保険料等については、審議会としてはこのような形とさせていただいて、後は議会等で進めていただくことになると思う。介護サービスについては、新型コロナウイルス感染症の影響で廃業する事業者や営業してはいるが、とても収支が合わないといった事業者も出てきたりして、結果的には利用者がサービスを利用したくても利用できなくなってしまったりといったような様々なことが起こってくると思う。今回、審議会では計画はまとめたが、それは3年間ずっと守らなければいけないということではなく、その都度、このような有事の時には見直しを行わなければならないこともあると思う。そのあたりは次期計画の審議会に任せたい。

(3) 答申(案)について

事務局より、資料4を用いて説明

(会長)

この答申(案)をもって市長に答申することになるが、よろしいか。

(委員)

(意見等なし)

5 その他

第8期計画について、広報川越令和3年4月号への折込記事により周知する予定であることを報告。

6 会長、副会長から挨拶

福祉部長から委員へお礼の挨拶

7 閉会